

●文章に図表を組み合わせて、読みやすくして印象的な『私』の説明文を書きましょう。

一年組 号( )

題名 「ぼくの読書記録」

# ぼく の 読 書 記 録

小学校の学年	読んだ本の冊数
4年	15冊
5年	39冊
6年	27冊

2012年9月1日調査

1 学年ごとの読書量の変化を示すなら、表よりも折れ線グラフか、棒グラフの方がよい。

5 常体と敬体が混ざっているので、線を引いた部分は、常体を敬体に直した方がよい。

ぼくの読書記録について紹介します。  
 小学校四年生の時は、年間十五冊読みました。そのころは、本を読むのが苦手だった。し  
 お母さんにすすめられて、やっと十五冊読  
 ことを今でも覚えています。  
 小学校六年生の時は二十七冊読みました。  
 リー・ポッターと賢者の石』を読みました。内  
 容はよく分からなかったけど、とにかく長かつ  
 たということだけは覚えていいる。  
 小学校五年生の時は、ぼくが一番本を読みま  
 した。なんと三十九冊です。そのころなぜ一  
 本を読んだかというところ  
 リ』シリーズがはやって  
 読んでいたのでぼくもた  
 すごくおもしろくてはな  
 中学校に入り、ぼくは  
 勉強もだんだん難しくな  
 も部活動と勉強の両立が

4 最後のまとめの段落は、説明した読書記録に関係することを書いた方がよい。

『かいけつゾロ  
 りです。みんな  
 読んでみたら、  
 まった。  
 に入りました。  
 ます。これから  
 がんばります。

3 学年の順に説明するか、「これまで一番少なかったのは、～」「これまで一番多かったのは、～」のように説明するか、どちらかにした方がよい。

※ 1～5は「読み合うときの観点」の番号と対応している。